

8月18日：大型株が下落を主導し三日続落

ベトナム株は大型株の下落によって投資家心理が悪化したことで3日続落となった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.44%安の846.43ポイントで取引を終えた。

直近3営業日の合計で1%ほど下落した。

VN30指数は0.58%安の786.95ポイントで取引を終えた。VN30先物も0.57%安の788ポイントで取引を終えていた。

30銘柄の内の21銘柄が下落し5銘柄のみが上昇した。

サイゴンビール (SAB)、ビンググループ (VIC)、ビンコムリテール (VRE)、ベティンバンク (CTG)、ビナミルク (VNM)、マサングループ (MSN)、フーニュアンジュエリー (PNJ)、モバイルワールドインベストメント (MWG)などの銘柄が大きく下落した。

生活必需品、小売、不動産が最も下落したと BIDV 証券はデイリーレポートで報じた。

それらの3つのセクター指数は0.63%-1.03%下落した。

投資家は指数が860ポイントに近づくと警戒感が高まり売り圧力が高まると Thanh Cong 証券は語った。

新型コロナのベトナムでの感染拡大についても投資家は慎重に見ている。

外国人投資家は2900億ドンの売り越しで月曜日よりも大幅に増加した。

火曜日には世界の株式市場はわずかに上昇したが、米国の連邦銀行の景気に関する発言を見極めようとしていると思われる。

大型株が振るわない中で、中小型株には資金が流入した。中小型指数はそれぞれ0.5%、0.41%の上昇を記録した。

日本のJETROが1400社以上の日本企業がベトナムでの事業を拡大しようとしているというレポートを受けてセメント、工業団地関連が上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.16%安の117.02ポイントで取引を終えた。

月曜日に同指数は0.84%高で取引を終えていた。

出来高は両取引所合計で2億9600万株、売買代金にして5兆ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。